

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)			羽越河川国道		新潟県		新潟地方気象台		村上市		関川村		胎内市		荒川水力電気		赤芝水力発電		東北電力			
項目	事項	内容	課題の対応	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
1. ハード対策の主な取組																						
■洪水を河川内で安全に流す対策																						
		・河道掘削 ・侵食対策	T,U	・洪水を安全に流すため及び危機管理型のハード対策を推進する。 海老江地区の河道掘削を実施(事業継続中)	引き続き実施	・洪水を安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施															
■危機管理型ハード対策																						
		・堤防天端の保護	V	・堤防天端の保護	引き続き実施																	
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																						
		①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	O,Q	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 ・新技術(水のう等)を活用した資機材等の検討・配備	引き続き実施	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施									
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標等の設置	L,J	・簡易水位計の設置	H28年度から順次整備	・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置	H28年度から検討															
				H29より直轄管理区間に4箇所、支川及び上流域に4箇所設置予定	H29年度から順次整備	危機管理型水位計等の設置位置等について、村上市・関川村と意見交換を実施	H29年度から順次整備															
2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組																						
■情報伝達、避難計画等に関する事項																						
		①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	G,H I,J	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施	・新潟県河川防災情報システムの改良及びスマートフォン向け画面の検討 ・隣県水位局の情報を掲載 ・洪水時における水位の緊急速報メールの検討	引き続き実施	・気象警報・注意報を発表し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、雨量などの予想最大値を周知 ・必要に応じて、自治体に情報伝達(ホットライン)を実施	引き続き実施	防災メール等について、更なる普及のため周知・広報を実施する。	引き続き実施	緊急速報メール等について、更なる普及のため周知・広報を実施する。	引き続き実施	緊急速報メール等について、更なる普及のため周知・広報を実施する。	引き続き実施	ダム放流にサイレン・スピーカー等による周知を実施する。	引き続き実施	ダム放流にサイレン・スピーカー等による周知を実施する。	引き続き実施	ダム放流にサイレン・スピーカー等による周知を実施する。	引き続き実施	
		②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	C	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	・県管理区間のタイムラインに必要な水位情報等の提供など	順次実施	北陸地整・県・市・村と共同し、整備・改善を支援	順次実施	出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	タイムラインの作成 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施							
		③想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	D,E F	・想定最大規模降雨の荒川浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の荒川氾濫シミュレーションの公表	H28年度から実施	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表を行う。	H28年度以降検討															
				平成29年5月22日よりプッシュ型の洪水予報等の情報発信を開始 平成30年度出水前に荒川沿川市村へ再周知	引き続き実施	・平成29年4月からスマートフォン向け画面を公開 ・隣県水位局の情報は新潟県河川防災情報システムに掲載(公開)済み ・プッシュ型配信については、引き続き検討	・実施済 ・実施済 ・引き続き検討	適宜実施	引き続き実施	【随時】市HP等で周知	引き続き実施	広報等による周知を実施	引き続き実施	市報等による周知を実施する。	引き続き実施	ダム放流にサイレン・スピーカー等による周知を実施している。	引き続き実施	ダム放流にサイレン・スピーカー等による周知を実施している。	引き続き実施	ダム放流にサイレン・スピーカー等による周知を実施している。	引き続き実施	
				国管理区間のタイムラインは策定済み、今後は検証と改善を行う	引き続き実施	・荒川(県管理区間)のタイムライン策定済み(ホットラインも構築)、今後は検証と改善を行う ・タイムラインを策定しない水位周知河川以外の河川において、関係機関が連携し流域雨量指数を用いた水害危険性の周知に関する取組を気象庁(新潟地方気象台)とともに検討	引き続き実施 引き続き実施	自治体要請に基づき、適宜、作成支援を行う。	引き続き実施	国管理区間のタイムラインは策定済み、今後は検証と改善を行う	引き続き実施	国管理区間のタイムラインは策定済み、今後は検証と改善を行う	引き続き実施	国管理区間のタイムラインは策定済み、今後は検証と改善を行う	引き続き実施							

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)	羽越河川国道	新潟県	新潟地方気象台	村上市	関川村	胎内市	荒川水力電気	赤芝水力発電	東北電力
	平成29年4月17日に公示・公表	引き続き実施 想定最大規模も含めた荒川の浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等を作成中	引き続き検討						

2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する取組																							
④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E F,K	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。 平成29年4月17日に公示・公表	H28年度から実施	引き続き実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。 荒川の浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域を作成中	H28年度以降検討	引き続き検討		検討中	H29年度から検討	検討中		該当地区なし	削除									
⑤参加市・村による広域避難計画の策定及び支援	D,E	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 平成29年4月17日に浸水想定区域図を公示・公表	H28年度から順次実施	引き続き実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市村間の調整や運営上の課題への支援	引き続き実施	引き続き実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	H28年度から順次実施	・北陸地整、県、関係市村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難の現実性について検討する。	H29年度から検討	H29年度から検討	・北陸地整、県、関係市村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難の現実性について検討する。	H29年度から検討	・北陸地整、県、関係市村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難の現実性について検討する。	H29年度から検討						
⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D,E F	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進 検討中	H28年度から実施	引き続き実施							・ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。	H29年度以降検討	・ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。	H29年度以降検討	・ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。	H29年度以降検討							
⑦水位予測の検討及び精度の向上	B	・現状予測期間(～3時間)・更に数時間(4～6時間程度)先も含め水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。 平成29年度に洪水システムの改良を実施中(4月開催の総会では完了として報告予定)	順次実施	順次実施	上流水位局による下流水位予測の検討	H28年度から検討	引き続き実施											データの提供	順次実施	データの提供	順次実施	鷹の巣ダムデータの提供(毎正時)	引き続き毎年実施
⑧気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	J							・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 [H27.5.17]「危険度の色分け表示」、「警報級の可能性」正式運用を開始	H29年度出水期から実施														

2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組

■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																								
①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	A	・重要水防箇所等の共同点検を実施 [H29.6.11]荒川合同巡視【H30.6.10】荒川合同巡視を予定	順次毎年実施	引き続き毎年実施	・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施 [H29.6.11]荒川合同巡視【H30.6.10】荒川合同巡視を予定	順次毎年実施	引き続き毎年実施				・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施 [H29.6.11]荒川合同巡視【H30.6.10】荒川合同巡視を予定	順次毎年実施	引き続き毎年実施	・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施 [H29.6.11]荒川合同巡視【H30.6.10】荒川合同巡視を予定	順次毎年実施	引き続き毎年実施								
②小中学校等における水災害教育を実施	A	・市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 沿川小学校でふれあい防災教室を実施	引き続き実施	引き続き実施	・新潟県防災教育プログラム【洪水災害編】を作成済み。 ・市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 【現状実績なし】	引き続き実施	引き続き実施	・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する。	H28年度から実施	H28年度から実施	地域が連携した実践的な防災教育を実施	引き続き実施	地域が連携した実践的な防災教育を実施	引き続き実施	地域が連携した実践的な防災教育を実施	引き続き実施								

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)		羽越河川国道	新潟県	新潟地方気象台	村上市	関川村	胎内市	荒川水力電気	赤芝水力発電	東北電力									
③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A	・市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 沿川小学校と中学校で出前講座を実施	引き続き実施	・市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 【現状実績なし】	引き続き実施	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する。 H28年度から実施	引き続き実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度から実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度から実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度から実施	・ハザードマップ見直しの際に説明会を実施	H31年度以降				
④まるとまごハザードマップを整備	D,F I	・市村が作成するまるとまごハザードマップへの情報提供 【H29実績なし】	順次実施	・ハザードマップの基礎資料となる浸水想定区域図の作成と公表 想定最大規模の荒川の浸水想定区域図を作成中	引き続き実施	まるとまごハザードマップを検討	順次実施												
⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 HPで減災対策協議会について広報	H28年度から実施	・洪水時の情報収集や避難の判断基準等を一般住民に理解してもらえ家庭向けのチラシを作成し、ホームページで公表 ・チラシを市町村や県地域整備部へ配布 ・「荒川総合水防演習」にてパネル展示を実施し、資料を配付 ・荒川頭首工見学者に防災に関する資料を配付	引き続き実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 H29年度から検討										
⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K																		
⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等)	A	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施	⑦羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等) 【H29.5.27】平成29年度荒川総合水防演習を実施 【H29.8.26】羽越水害50年シンポジウムを実施	H28年度から実施

2. ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																			
①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	M	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H29.4.21】直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H29.4.21】直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練への支援 【H29.4.21】直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H29.4.21】直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H29.4.21】直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H29.4.21】直轄管理区間の洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H29.5.12】洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H29.5.12】洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H29.5.12】洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き毎年実施
②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所合同巡視の実施	U,L M	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 【H29.6.11】合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 【H29.6.11】国交省や沿川自治体等と合同巡視を実施 【H29.5.17】県管理河川に係る合同巡視を実施	引き続き毎年実施		引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 【H29.6.11】合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 【H29.6.11】合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視に参加 【H29.6.11】合同巡視を実施	毎年実施						
③県北地域が一丸となり、毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	O,P	・水防管理団体が行う訓練への参加 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施	・関係機関等の要請により、訓練への支援 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 【H29.5.27】荒川総合水防演習	引き続き毎年実施

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)		羽越河川国道	新潟県	新潟地方気象台	村上市	関川村	胎内市	荒川水力電気	赤芝水力発電	東北電力
④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	N,P				・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。 【随時】市HP等で周知	引き続き毎年実施	引き続き毎年実施			
⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	O	・水防技術講習会に参加 H29水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			
⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	Q	・復旧活動の拠点等配置計画を検討 検討中	H28年度から検討 引き続き実施	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から実施 引き続き検討					
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組										
①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	K	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う 施設管理者から問い合わせに対応	引き続き実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の記述的な助言を行う	引き続き実施	H28年度から実施	・要支援者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から実施
							【随時】要配慮者施設へ計画策定に向けた支援を実施			
2. ソフト対策の主な取組 ③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化										
■救援・救助活動の効率化に関する取組										
①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	E,T	・広域支援拠点等の検討支援 検討中	H28年度から検討 引き続き実施	・広域支援拠点等の検討支援	H28年度から検討 引き続き検討		・広域支援拠点等の配置等を検討 未着手【H30.3現在】	H29年度から検討	・広域支援拠点等の配置等を検討 未着手【H30.3現在】	H29年度から検討 H30年度から検討
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施										
①大規模水害を想定した荒川排水計画(案)の検討を実施	R,S	・排水機場、樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討 検討中	H28年度から検討 引き続き実施	・排水ポンプ車に関する以下の情報の確認及び情報共有 ①排水ポンプ車想定箇所リスト ②浸水常習箇所リスト ③排水ポンプ車想定箇所カルテ ④排水ポンプ車想定箇所図 排水ポンプ車に関する浸水常習箇所、排水ポンプ車想定箇所等の情報を確認し、国と共有	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施		・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の情報提供 未着手【H30.3現在】	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の情報提供 未着手【H30.3現在】	H29年度から検討 H30年度から検討
②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	S	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。 洪水対応演習(情報伝達訓練)の中で情報共有	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・連絡体制の確認 洪水対応演習(情報伝達訓練)の中で情報共有	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施		・連絡体制の確認 洪水対応演習(情報伝達訓練)の中で情報共有	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・連絡体制の確認 洪水対応演習(情報伝達訓練)の中で情報共有	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施
③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	T	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加 H29の実績無し H30は実施予定	H28年度から実施 引き続き毎年実施	・排水ポンプ車の実働訓練を実施 排水ポンプ車の実働訓練に参加検討	H28年度から検討 引き続き毎年実施		・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討 排水ポンプ車の実働訓練に参加検討	引き続き毎年実施	・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討 排水ポンプ車の実働訓練に参加検討	引き続き検討 引き続き検討